

科目名	現代の国語	学年類型	1年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと	○
単元名	実社会の話題について話し合おう					書くこと	
教材	オリジナル教材（各種グラフ・データ等）					読むこと	
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア)		「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。(A話すこと・聞くこと(1)オ)		話し合い活動を通して、目的を達成するために有効な表現や進行の仕方の工夫を粘り強く行う中で、自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
目的に応じた話し合いを行う							

時間	授業のねらい・学習活動	重点項目			評価の方法
		知	思	態	
1 ・ 2	<p>考えを広げるとともに論点を整理する。(ブレインストーミング)</p> <hr/> <p>①「日本はサマータイム制を導入するべきか」という題材を知る。 ②与えられた課題について自身の考えをもつ。 ③グループでの話し合いを通じ、考えを広げるとともに整理をする(話し合い1)。KJ法によって考えを広げる。その際、Yチャート/Xチャートを用いて、賛否の理由を観点別に分ける。 ④話し合い1についてどのような話し合いができたかを振り返る。</p> <p>※話し合い1では思考の拡散および論点の整理を目的とし、目的に応じた話し合い活動を行わせる。</p>		◎	○	<p>・記述の分析 (ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 思考を拡散した上で、それらを分類・整理する思考ツールとしてY/Xチャートを用いた。 </div>
3 ・ 4	<p>考えを深めるとともに合意形成をする。(ジグソー学習)</p> <hr/> <p>⑤グループを解体し、観点別(例：経済面、健康面、生活面、エネルギー面等)のエキスパート活動を行う。 ⑥エキスパート活動を終わったら元のグループに戻り、観点別に検討したことを共有する。 ⑦これまでの学習により得られた情報を基に、グループとしての結論を出す(話し合い2)。 ⑧話し合い2についてどのような話し合いができたかを振り返る。</p> <p>※話し合い2では、全員の合意形成を図ることを目的とし、目的に応じた話し合い活動させる。最終的な結論を出す際には、グループ内での合意を得ることを基本としながらも、一つの結論に収斂されず部分的な留保を残す場合や納得できない成員がいた場合などは、そのことも含めて話し合いの状況を把握させる。</p>	○	◎	○	<p>・記述の分析 (ワークシート)</p>
5	<p>学習を振り返る。</p> <hr/> <p>⑨振り返りシートを用いて学習を振り返る。</p>			◎	<p>・記述の確認 (振り返りシート)</p>

※重点項目の欄について、指導に生かす評価には「○」を、記録に残す評価には「◎」を付す。

ルーブリック

	A	B	C
思考・判断・表現	話し合いに積極的に参加し、目的に応じた発言をするだけでなく、全体の調整をしたり軌道修正をしたりするなど、話し合いが円滑に進むための発言をすることでグループに貢献している。	話し合いに積極的に参加し、目的に応じた発言をすることでグループに貢献している。	話し合いに参加している。
改善案			

次年度への申し送り事項

--